

北九州市立大学の新学部について

1 新学部設置の経緯

北九州市立大学では、国の方針や市内企業のニーズ等を踏まえ、新たにデジタル分野に関する教育プログラム等の準備を進めていた。

そのような中、令和5年4月に、国がデジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向け、新たな学部等の設置を促進するための「大学・高専機能強化支援事業」を創設した。

このため、市立大学では、新学部の設置を目指すこととし、令和5年5月に国の支援事業に助成金の申請を行い、7月に選定され、9月に助成金の交付決定を受けた。現在、令和9年4月の開設に向け準備を行っている。

2 新学部の概要(予定)

(1)学部名 (仮称)情報イノベーション学部

(2)学科名・養成する人材

ア (仮称)情報エンジニアリング学科(入学定員68名)

⇒情報工学の先端技術を駆使する高度人材

イ (仮称)共創社会システム学科(入学定員50名)

⇒GX推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材

(3)入学定員 118名(収容定員 472名)

(4)学 位 学士(情報工学)

(5)開設時期 令和9年4月

(6)設置場所 未定(市立大学は、小倉都心部の設置を要望)

3 新学部の特色(予定)

実社会が求める即戦力人材を養成するため、市内企業と連携し、実際のビジネスにおける課題解決能力を身につけるべく、より実践的な教育を展開する。

具体的には、市内企業との連携のもとで、以下の教育プログラムを実施する予定。

- (1) 実際のビジネス課題をもとに行う課題解決型学習
- (2) 学生が長期で市内企業の日常業務に就き、専門的な職業経験を積むジョブ型(長期型)インターンシップ
- (3) 地元企業の技術者・専門家による講義
- (4) 起業マインドを醸成し、起業に関する専門知識等を学ぶアントレプレナーシップ教育 等

4 大学からの要望

○北九州市立大学から北九州市に要望書の提出。(令和6年1月30日)

連携企業とのアクセスが良く、北方キャンパス間の移動が容易であり、小倉駅等主要な交通拠点からのアクセスが良いことから、「IT 企業等が集積する小倉都心部(できればモノレール旦過駅周辺)に新学部校舎の設置」を希望している。

5 旦過市場からの要望

○旦過市場関係者から北九州市及び市立大学に要望書の提出。(令和6年3月15日)

「北九州市立大学新学部の旦過市場内(BC地区)への設置」、
「組合活動やにぎわいづくりなどの地域活動面でのより一層の連携推進」を希望している。

6 新学部に係る今後の予定

令和6年～	新学部のカリキュラム等の検討
令和6年3月末	新学部の設置場所の決定
令和8年3～4月	文科省に設置の認可又は届出
令和9年4月	新学部設置